

マダニ媒介性感染症に注意しましょう！

SFTS
(重症熱性
血小板減少
症候群)



↑吸血前の若虫
胴体部約1mm

高熱・頭痛・筋肉痛・
痒みや痛みのない、全身に
広がる皮膚の斑状発赤



↑吸血後の成虫
約10mm

**日本
紅斑熱**

高熱・頭痛・意識障害・
消化器症状（嘔吐・下痢・腹痛）

＜野山に立ち入る際の注意事項（マダニに刺されないことが大切！）＞

1. 長袖、長ズボン、手袋などを着用し、肌の露出を避けましょう。
2. DEET（ディート）という成分等を含む虫除け剤に補助的な効果があると言われています。
3. 野山に立ち込んだ後は、家の外で服や体をはたき、マダニを落としましょう。
4. 野山に立ち込んだ衣服は、すぐに洗濯するか、ビニール袋等に入れ、密封し保管しましょう。
5. できる限り早くシャワーを浴びましょう。その際、マダニに刺されていないか全身（特に頭髪部、首、脇の下、脇腹、足の付け根、膝の裏等）を観察しましょう。

＜マダニに刺された時の注意事項（マダニをつぶさないことが大切！）＞

1. 自分で取る時は、ワセリン等でマダニと刺された部分を覆い約30分間放置後、ガーゼや布等でマダニの頭側から拭き取ってください。
2. それでも取れない時は、マダニをつぶさないように頭部をピンセットでつまんで、慎重に取り除きましょう。
3. 自分で取れない時は、無理に取らずに医療機関に相談しましょう。

1. 野山には原虫や細菌、ウイルスなどの病原微生物を保有するマダニ（数パーセントが保有すると言われています）が生息しています。マダニに刺された後1週間前後で「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群」という疾患を発症することがあります。
2. 三重県では伊勢志摩地方を中心に年間30～40件程度の日本紅斑熱症例が報告されています。また2015年以降は重症熱性血小板減少症候群の患者も発生しています。
3. これらの疾患発生時期の多くはマダニの活動時期に一致し、春から秋にかけて発生します。マダニに刺されたことに気付かず発症する方もいます。
4. マダニに刺されても、これらの疾患を発症する可能性は、数パーセントに満たないと考えられますが、**流行時期に上記の症状があれば、発症した可能性があります。医療機関を受診し、医師にマダニに刺された可能性があることを告げましょう。**
5. 通常、人から人に感染することはありません。

◎問い合わせ先（詳細については下記連絡先にお問い合わせください）

所属名	電話番号
桑名保健所	0594-24-3625
鈴鹿保健所	059-382-8672
津保健所	059-223-5184
松阪保健所	0598-50-0531
伊勢保健所	0596-27-5137

所属名	電話番号
伊賀保健所	0595-24-8045
尾鷲保健所	健康増進課 0597-23-3454
熊野保健所	0597-89-6115
四日市市保健所	保健予防課 059-352-0594
三重県健康福祉部	薬務感染症対策課 059-224-2352